

プロロジス、東京駅 5km 圏の物流施設を取得、
「プロロジスアーバン東京東雲 1」として提供
～全館空調、各階アクセス可能な都市型物流施設に転換～



「プロロジスアーバン東京東雲 1」リノベーション後の完成イメージ

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区、代表取締役会長 兼 CEO:山田 御酒)は、ヤマト運輸株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 阿波 誠一)の物流施設を取得し、賃貸用の都市型物流施設「プロロジスアーバン東京東雲 1」として提供することを発表しました。

「プロロジスアーバン東京東雲 1」は、ヤマト運輸が自社物流拠点として運営していた物流施設であり、プロロジスが 2025 年 3 月に同社から取得しました。取得後はヤマト運輸へリースバックしていましたが、期間満了に伴い、2027 年 4 月からリノベーション工事を開始します。2028 年春から複数企業が利用可能なマルチテナント型物流施設として運営する計画で、入居企業を募集します。

■ 「プロロジスアーバン東京東雲 1」立地:都心各地へのラストワンマイル配送に適した希少な立地

「プロロジスアーバン東京東雲 1」は東京都江東区に立地し、東京駅の 5km 圏内に位置しています。東京駅まで車で約 20 分、首都高速道路「東雲」JCT まで約 4 分で到達でき、都内各地へ迅速にアクセスできる希少なロケーションです。

主要消費地へのアクセス性に優れているため、都心部商業エリアへの即日配送や、豊洲・有明エリアなどの東京湾岸地域、および都内各地へのラストワンマイル配送に適しています。緊急性の高い医療機器の配送拠点や、EC フルフィルメント拠点としての活用も期待されます。



また、りんかい線「東雲」駅から徒歩 6 分、東京メトロ有楽町線「辰巳」駅から徒歩 14 分と複数路線の利用が可能です。周辺にはオフィス、商業施設、住宅が集積しており、豊洲・有明エリアを含む湾岸地域では人口増加が続いていることから、雇用確保にも優位な環境です。

■ 「プロロジスアーバン東京東雲 1」 概要:全館空調とカーリフトを備えた効率的で快適な環境

「プロロジスアーバン東京東雲 1」は、敷地面積約 3,500 m²に立地する地上 5 階建て、延床面積約 9,300 m²の既存施設を、マルチテナント型の物流施設として改修します。

同施設は低床仕様であり、床荷重は 1 階が 1 m²当たり 1.5t、2 階以上も 1.0t を確保しています。大型の先進的物流施設に匹敵する高い積載性能を備え、多様な物流ニーズに対応可能です。

また 4tトラックが利用可能なカーリフト兼荷物用エレベーターを 2 基備えており、車両による各階アクセスと効率的な荷捌きを実現します。加えて、リノベーション工事にあわせて屋上および 1 階外構の駐車スペースの一部を再整備し、数十台規模の駐車場を設ける計画です。都心部では希少な、敷地内および施設内への車両の乗り入れが可能な物流拠点として、効率的なオペレーション環境を提供します。

さらに、倉庫部分を含む全館空調や各フロアのオフィススペースなど、快適な就業環境を整備します。

「プロロジスアーバン東京東雲 1」は、物流効率化と人材確保の両立が求められる都市型物流のニーズに応えるとともに、都心部各地にアクセスしやすい戦略的な物流拠点として、お客さまのサプライチェーン高度化に貢献してまいります。

「プロロジスアーバン東京東雲1」概要

名 称	プロロジスアーバン東京東雲 1
立 地	東京都江東区東雲 2 丁目 2-3
敷 地 面 積	3,548.02 m ² (1,073.28 坪)
延 床 面 積	9,262.31 m ² (2,801.85 坪)
構 造	地上 5 階建て、鉄骨鉄筋コンクリート造
改 修 完 了	2028 年春(予定)

プロロジスアーバンについて (<https://www.prologis.co.jp/real-estate/development/urban>)

「プロロジスアーバン」は、東京・ロンドン・ニューヨーク・パリ等、世界の人口集積都市において効率的な配送を実現するためにプロロジスが展開する物流施設ブランドです。

ラストワンマイル配送や都心部での物流需要にとどまらず、既存のオフィスビルと物流施設の垣根を超えて、多様なニーズに応える新たなビジネス拠点として利用されています。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム

<https://prologis.form.kintoneapp.com/public/inquiry-media>